

2019年度三重創生ファンタジスタ オリジナル科目の紹介

三重創生ファンタジスタ
文部科学省
地(知)の拠点

COC+「地域イノベーションを推進する三重創生ファンタジスタ」では、三重県の魅力をより知ってもらうための授業を開講しています。2019年度前期授業は、次の4科目です。学生の皆さん、三重創生ファンタジスタを目指して積極的に受講してください！

● 日本理解特殊講義「三重の歴史と文化」

開講時期：前期水曜日3コマ（5・6限）

開講場所：三重大学

授業形態：座学、オムニバス授業

特徴：伊勢商人や忍者、地域資源を活用した観光などをテーマに、三重県の豊かな歴史や文化を専門家を招いてより深く学んでいきます。



● 三重学「食と観光実践」

開講時期：前期集中

開講場所：三重大学、Miemu、熊野市

授業形態：合宿型授業（問題解決型授業）

特徴：地域の食文化や観光を、実際にフィールドに入って学び、調査・分析することで地域の課題解決を考える授業です。



● 日本理解特殊講義「医療・健康・福祉実践」

開講時期：前期集中

開講場所：三重大学、志摩市など

授業形態：合宿型授業（問題解決型授業）

特徴：高齢化の進展により医療や介護に対するニーズは高まるなかで、より良い地域医療を提供し続けるための手法を考える授業です。



● 現代社会理解実践「地域発見型インターン」

開講時期：前期集中

開講場所：三重大学、インターン先企業・団体等

授業形態：現地学習

特徴：インターンシップを通じて、仕事や地域への理解を深める授業です。2019年度は防災を通じた体験型インターンシップを実施します。

